

# マザーハウス たより

あなたは愛されるため、また、愛するために生まれてきたのです。あなたが必要であり、大切です。マザーハウスはあなたの家族です。



表紙：Y・Rさん

2018  
12月号

移送・出所される方は、必ずご一報ください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 2 理事長挨拶       | 20 Lovely DAYs |
| 4 特別コーナー      | 20 巷のたより       |
| 5 社会の声        | 21 健康相談窓口      |
| 11 ささきみつおコーナー | 22 つぶやき！       |
| 13 育児日記       | 23 行事予定        |
| 13 塀の中のたより    | 23 お知らせ        |

## 理事長挨拶

### クリスマス

キリスト教の待降節に入りましたが、皆さん、如何お過ごしでしょうか？

カトリック教会では、クリスマス（降誕祭）の四週間前の日曜日から、クリスマスを準備する期間（待降節）に入ります。クリスマスは、神のひとり子キリストの誕生を思い起こす日として古代から祝われてきました。キリストがいつ生まれたか、聖書にははっきりとは書いてありません。十二月二十五日をキリスト誕生の日とする最古の記録は、四世紀のローマの「殉教者帰天日表」です。

しかし、昔は地方によって、一月六日に祝っていました。ちなみにロシア正教会は、今でも一月はじめにキリストの降誕

を祝います。

ではなぜ、ヨーロッパのクリスマスは、十二月二十五日に祝われるようになったのでしょうか？ 次の説が有力であると言われています。

昔、ローマ国内では、太陽崇拜が広く行われていました。ローマ暦では十二月二十日が冬至で、この日を太陽誕生の祝日として祝っていたそうです。教会はこの祭日を取り入れ、「正義の太陽」であるキリストの誕生の日として祝うようになりました。

私の洗礼名にニコラウスとあるのですが、これは、三〇四世紀にリキュア（現トルコ）のミノラの司教だった聖ニコラウスの名前を頂きました。

ニコラウスは慈悲深く、多くの貧しい人を助けたと伝えられています。例えば、ある日、ニコラウスは、貧しい三人の娘が住む家の暖炉にこっそりと金貨を投げ込んで、幸せな結婚をさせたという話が、特に有名です。サンタクロース（聖ニコラウスをあらわすオランダ語が、アメリカに渡ってさらに訛ってサンタクロースになったと言われています）が煙突から入って、暖炉のそばの靴下にプレゼントを入れるという言い伝えは、ここから生まれたようです。

### 近況報告

今年もあとわずかとなりましたが、この一年を振り返って如何でしょうか。

私にとっては、今年、「受刑者のためのミサ」が実現したことが一番の大きな出来事です。神様に感謝です。関わってくださった方々、参加して下さった方々に感謝申し上げます。

また、何回も言いますが、社会復帰した元受刑者たちに裏切られたことが何度もあり、他にも、社会の人にマザーハウスを利用され、とても悲しかったです。自分はマザーハウスを利用して第三者からお金を頂いているのに、マザーハウスにはタダでやらせようとしているのです。これではますます赤字になってしまいます。元受刑者たちや、そのサポートをする活動を、自分の利益の道具にしていると感じました。協力者がいるのにも関わらず、自分一人で実践したかのように天狗になつてしまう人が多いと感じます。

先日、ある社会復帰者が訪ねてきました。親が残した遺産で生活しているようですが、なんと一年間で四百万円ぐらい使っているのです。この人は一体、何を考えているのだろうかと思いました。それなのに、「サポートしてくれる人がいな

い」と言うのです。また、「どこも雇ってくれない」と言っていました。彼の話を聞いて、自分と向き合っていないことを指摘し、厳しいことを言ったら、「たばこを買いに行つてきます」という言葉を残して戻って来ませんでした。

多くの受刑者が、「社会復帰したら会費を支払います」「事務所に必ず行きます」という内容の手紙をくださいますが、ほとんど実践されることなく、再び逮捕された時だけ連絡が来ます。口先だけであり、人としての道から外れているように感じます。このような方は、真剣に自分と向き合い、回復（更生）を考えているのでしょうか？ 実践できないのなら、最初から言わなければいいのです。だから自分を変えることが出来ず、言葉だけで行動が伴わず、再犯を繰り返すのだと思います。

マザーハウスは御用聞きではありません。入会申込書、文通の同意書、身元引受人審査申請書、冊子など、一度送付した物を「誤って廃棄したから再度送ってください」と安易に言ってくる人がいますが、その分、発送費用がかかり、また、資料等の用意などをしなければなりません。自分勝手過ぎると思います。必要になるかもしれない時のために、保管して頂きたいです。マザーハウスには、

資料を何部も前もって準備できるほど、お金も時間もありません。「送ってください」という依頼があるたびに、印刷して、冊子のかたちにして、封筒を用意しているのです。

他にも、「洋服を送ってください」「近所のお店のカタログをもらって送ってください」など、マザーハウスを便利屋と勘違いしている方が多いと感じます。

皆様にお知らせがあります。受刑者の学習や社会復帰、回復のために、情報検索・書籍の差し入れを行うフランチス事業を充実させたいと考えております。理由は、文通スタッフに様々なことを依頼してくる方が後を絶たず、また、それに応えてしまう文通ボランティアがいるためです。文通ボランティアも御用聞きではありません。受刑者の皆様の「精神的な」支え、社会復帰の応援のための文通です。

私自身、文通を通して、聖書の学びや回復プログラムの学びをしてきました。今の私がいるのは、文通を通して支えてくれた人がいるからです。社会にはルールがあります。マザーハウスの文通にもルールがあります。それを遵守できない人には文通を中止させて頂きますので、了承ください。

文通されている受刑者、ボランティアの皆さんは、何度も言いますが、再度文通の規則を読んで頂きたいです。あくまで文通のやり取りが目的なので、物資の送付や情報の検索などを依頼したり、引き受けたりしないでください。

## 山本さんとの出会い

私の友人である、加害者家族支援をされている阿部恭子さんから紹介された山本晃二さんが、わざわざ広島から訪ねてくれました。彼は元受刑者です。そして自分と向き合い、逃げることなく立ち上がった方だと思いました。彼の面談はとても有意義なものでした。そしてお互い協力し、連携して行きましょうということになりました。

下記、私がかがったお話や記事を参考に、簡単に山本さんの活動を紹介させて頂きたいと思えます。

☆

山本さんは、月刊求人誌「ネクスト」を今年四月に創刊。広島県をはじめ、北海道や大阪府など各地の建設、介護会社など約四十社の求人情報を掲載。五百部を作り、全国の事務所や少年院、更生保護施設など百五十力所以上に郵

送している。

「自身は横浜市出身。少年時代から非行を繰り返した。二十代の頃に少年刑務所に入り、出所後に仕事を得ても長続きせず、再び罪を犯し、服役は計七年に及んだ。二〇一二年に社会復帰。子供と一緒に待ちわびていた妻（三十三）から、「頼むから仕事を」と懇願され、知人のつてをたどり、三十五歳で初めて建設業界に飛び込んだ。

午前六時に現場に出る毎日。山本さんは、「人の三倍働き、人の三倍笑顔を見せ、どんな約束もほかにしないよう心掛けた」と振り返る。「あの人は元受刑者だから」というささやきは、「元受刑者だけよく働く」という評価に変わった。三十六歳で独立を決意し、豊生を設立した。山本さんは元受刑者や元非行少年を積極的に雇い、今は十〜四十代の十数人が働いている。その一人、Kさん（二十）は「一人前になり、将来は会社を経営したい」と話す。

汗を流す若者らの姿に、山本さんは「多くの会社が再起の受け皿になってくれたら。人手不足に悩む会社のニーズもあるはず」と、求人誌の製作を思い立った。昨秋から知人に声を掛け、電話による営業で新規開拓し、創刊にぎ着けた。

☆

## 出所後の第一歩に、生活保護

マザーハウスでは、社会復帰後の計画として、様々な訓練が必要であると感じております。それは、社会に土台を作るためのものです。土台がなければ簡単に崩れてしまいます。

生活保護法第一条には、「この法律は、日本国憲法第二十五条に規定する理念に基き、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする」とあります。私は、出所後の第一歩として、まず生活保護を用いて、社会に回復のための土台を作ることが必要であると思えます。現在、生活保護を受けながら新しい人生を歩んでいるマザーハウスの仲間たちがい



Y・Rさん

そして、つながりやコミュニケーションも大事です。心のケアも必要です。犯罪からの離脱には、「本人の変わりたいという強い意志」と、「それを支える仲間」、そして「共に生きる人たちが」が必要なのです。

## 年金について

受刑者の皆さん、年金の法律が変わり、年金を十年払っていれば、もらえるようになったことをご存知ですか？

- ① 国民年金保険料を払った期間
- ② 厚生年金や公務員共済に加入した期間
- ③ 国民年金保険料の免除申請をして認められた期間
- ④ 生活保護の生活扶助を受けていた期間（二十歳～五十九歳）
- ⑤ カラ期間（国民年金に加入しなくてもよかつた期間（二十歳～五十九歳）

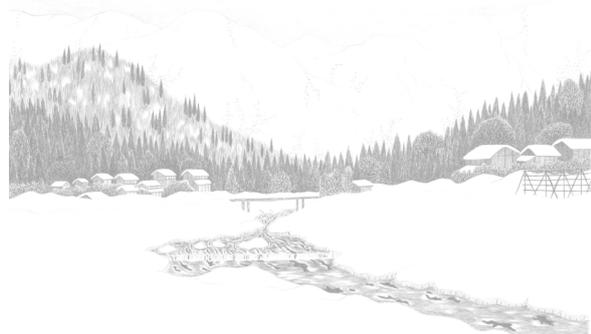
年金については、マザーハウス年金相談室にお手紙をください。実際に年金を受け取ることができた方もいます。相談には社会保険労務士が対応し、委任状を用いて年金記録を確認することもできますが、基礎年金番号が必要です。

詳しくは相談室までお問い合わせください。

## マリアコーヒーについて

最後に、来年一月より、コーヒー豆の輸入料金が為替等の事情で、これまでマリアコーヒーは消費税を内税にしていますが、外税に変更となりますので、どうぞよろしくお願い致します。

来年もマザーハウスの活動に全力で取り組みたいです。今年一年、活動できたことに感謝です。



死刑囚「待春」

## 特別コーナー

### 学園祭に参加して

出所者Oさん

今年の七月くらいから、学園祭で皆さん達とマリアコーヒーを販売できた良いなと思うようになった。「元受刑者と、学生さんが一緒にコーヒーを販売する」。社会にインパクトを与えるし、マザーハウスたよりでその事実を報告すれば、受刑中の方の心に「希望」が生まれると思った。

だから、今年の七月くらいから、当事者ミーティングやAPS研究会、理事長とマザーハウスの仲間数名で一緒に行った國學院大学のゼミや立正大学で、このことを「叫んだ」。今、思えば、「叫び」「祈り」「信仰」で、神様にできないことはない。

そして、願いは叶うのだと実感した。意外な形で。理事長や、マザーハウスの理事をされているカトリック春日部教会の藤田神父様のお話によると、願いを叶えるコツは、先に自分を献げることが大事だそうだ。献げないで、自分の欲しいモノばかり祈ってもダメだそうだ。

京都のAPS研究会に参加されている、立命館大学の森久先生のご協力で、この願いは実現した。

森久先生のSNSの投稿を引用すると、「ほんの思いつきでゼミ生の一人がLINEグループに放った、『ねー、学祭出店しよーや』との一言に、こぞとばかりに私が、『だったらこういうのどう?』と、マザーハウスさんとのコラボを提案したのが七月」。七月……!なんというタイミングだろう。しかも、私は直接、森久先生にお願していないのだ。神様が働いてこんな感じだと思っ。

学生さん達の考案で、コーヒーと一緒にチョコスを販売する事になった。学園祭はルール上、マリアコーヒーの商標で販売する事は出来ない。また、販売に直接携わるには、衛生検査が必要な為、マザーハウスのスタッフは販売ではなく、お客様を集める事に専念した。

「揚げたてのチョコスに、淹れたての美味

しいコーヒーはいかがですか?」。私達は人目を気にせず大きな声で、午前十時から十六時半くらいまで、恥じらいを捨てて叫び続けた。遠路はるばる来たんだし、少しでも学生さんの役に立ちたいと思つて。マザーハウスは自分達の利益ばかり考える人々ではない事を証明したくて…。

聖書を学ぶと、こういう考え方になる。元受刑者が学園祭に参加できる、という大きな恵みを神様から頂いているんだから、それに応えないとーと思つた。おかげ様で、黒字だったようです。帰りに、森久先生のゼミの学生さん達と、鉄板焼き屋でご飯を一緒に食べ、ざつくばらんにお話をした。

京都と東京の往復で、長時間、車を運転してくださった理事長と、当事者スタッフのKさん。一緒に参加してくれた、当事者スタッフのMさん。大学院生ボランティアのKさん。前日、宿を提供してくれた、カトリック桃山教会様。森久先生のゼミの皆様。繋げてくれたAPPS研究会の方々に、感謝の気持ちで一杯です。

来年は、関東の大学でもやりたいと思います。

## 社会の声

### 教誨師の働き

☆今年の十月に行われた、藤田薫神父様(カトリック春日部教会 司祭)と理事長の対談の様子をご紹介します。

☆

#### 五

神父様は教誨師として活動されているんですけども、なかなか社会の人にとっては、教誨師は分からない点多々あると思います。今日は色々お話を伺いたいと思います。ただ、やはり、公にできること、できないことがあるので、その辺はご了承願いたいと思います。

刑務所の中で、私はプロテスタントの教誨師さんとの個人教誨をさせていただいたんですね。施設によっては、カトリック

の教誨師さんがいる施設もありますし、いない施設もありますし、そういった難しい点もあるんですけど、牧師さんのお話を個別に聞くことができたのはとても学びになりました。

正直な話、カトリックとプロテスタントと、当時はよく分からなかったんですけど、ただ、ずっとマザー・テレサのシスターたちが関わってくださったので、自分の中では、カトリックの方で関係を保持していきたいなど。

自分の身元引受人もプロテスタントの信者さんなんですけれども、僕は「カトリックの方で洗礼を受けたい」という思いがあつたので、社会復帰した時にはその旨を伝えました。

牧師先生の個人教誨では、僕は聖書の「箴言」を、章ごとにずっと教えていただきました。

残念なことに、僕がいた岐阜刑務所の場合は、七か月に一回くらいしか個人教誨ができなかったんですね。他の刑務所では、教誨師さんの都合とか、教育課の先生(刑務官)が立ち会つてことで毎月できる所もあれば、ある程度の間がかかるといふ所もありますけれども。

### 教誨師になったきっかけ

#### 五

神父様とは、たしかO神父様から最初にご紹介いただいて、さいたま教区の叙階式(※司教が、司祭の聖職につく人に按手(人の頭に手を置いて祝福を祈ること)をもつて聖別を与え、聖霊の賜物を祈願する式)でお会いさせていただきました。その後、神父様がいらつしやつた教会にお邪魔して、一度、教会でお話をさせていただいたんですね。司祭叙階後、どうして教誨師をやるうと思つたか、お聞きしたいです。

#### 藤

その質問に対して肩透かしになるかもしれないけど、大体、教誨師つて、自分で「なりたい」つて言つてなるわけじゃないものが大半…中には、そういう人もいるけど、それはたぶん例外的なもので、大体は上から言われます。私の場合は、叙階とセットでした。叙階後、司教から、任命とか委嘱(Ⅱ委託)状とか来るんだけど、その中で、「K施設の教誨師を前任者から引き継いでやるように」と。でも、前任者がいたから、その時点では見習いで、まあ数カ月見習ったら引き継ぐかなと思つてた。前任者もすぐに

辞めるつもりはなかったから、しばらく見習いかなと思っていたら、一か月目で前任者が亡くなられて。

一度、前任者のやり方を見習おうとしたんだけど、とても私には真似できないというか。その時は集合教誨で、受刑者たちが座っていて、私は前任者の横で座って内容を聞いていた。私も困ったとに、神父の話を聞くと、子どもの時から眠くなるという(笑)、そういう幼児期からのものがあるので、強烈な睡魔に襲われて、受刑者が見ている前で横になつて寝るわけにはいかないの、それ自分との闘いで必死でしたね(笑)。その前任者の神父様は、いかに神が愛しているか、みんなのために十字架にかかってくれて、つておっしゃっていて、それが子守唄になりましたね…。だから、見習いの記憶はそれですね。

## 五

刑務所の中で、先ほど神父様がおっしゃった、集合教誨というのがあって、すけれども、これは、神父様が受刑者に向けて、簡単に言つと、結構一方的にしゃべるといふか。受刑者から何か質問されるっていうのは、ほとんど無いですね。例えば三十人いたら、そこに教誨師の方が来て、ずっと喋りっぱなし。

## 藤

こつちから質問すれば会話できる。

私は、集合教誨で何をしたら良いのか分かんなかったから、感想ノートっていうのがあるので、それを見て、それに質問とか書いてあると、質問の内容によつては、その一つの質問だけで延々と…それでやつていたら、そのうち受刑者から「賛美歌を教えてください」とか、「祈りを教えてください」とか、向こうからの希望があつて。それで、テゼの歌だったら、簡単な旋律を繰り返すため歌いやすいので、テゼの歌を入れて、祈りを入れて、それで質問に答えて…つてそういう形が定着してきた。最初の何年かは、質問に答えるだけ。そうしているうちに、そういうリクエストが彼らから出て。

## 刑務所との壁

## 五

成人の施設と少年の施設の違いつていうのは…少年の場合は、やはり教育を重点的にしているんでしょうか。

## 藤

成年でも、A級…つまり、初犯更生施設だったら、少年と同じように、かなり自由が利きますね。

## 五

僕は府中にいた時に、府中は再犯の刑務所なので普段は色々制約があるんですけど、クリスマス会で、プロテスタントの救世軍の方々が来て、牧師さんのお話と、歌を歌っていただいた記憶があります。

刑務所の中で、神父様が教誨師としてお勤めになった時に、壁というか、そういうのを感じたことはありませんか。つまり、受刑者に対して色々会話するけれども、質問事項とかあつた時に、教育課の刑務官が、「こつちう部分に関しては答えなくて下さい」とか。

## 藤

そつちうのは、以前なかつたんだけど、ある時期から…

例えば、受刑者がこに名札をつけて、名前が書いてあるんですけど…これも施設によるといふか、別に名前と呼んで大丈夫なのと、「名前を呼ぶと他の受刑者に名前が知れるので、番号を呼んでください」とつていう修正が入る場合もある。

あと、質問の内容でも、例えば質問者が、「自分は実家でこつちう仕事をしているんですけど、そつちう仕事に関してのアドバイス」といふ時に、そのまま答えたら後で身元が割れるようなことに関して、「他の受刑者に彼の実家の仕事

が直接分かるような答え方はしないでください」とつて言われたこともある。

## 五

ちなみに、神父様の所属やお名前を知っている受刑者もいたと思うんですけど、直接、受刑者からお手紙が行つたこととかはありませんか。

## 藤

それは、お坊さんたちはよく聞きますね。出た後に訪ねてくるのか。で、訪ねてくるのは大体、お金の件で。

私は無いですね。訪ねてきたんじゃない、たまたまミサに出た時に会つて、つていうのはありました。本人も「あつ」つてかんじで。でも、次からは来なかつた。残念なこと。

## 個人教誨について

## 五

受刑者が何かお願い事をする時に、願箋つていうのを刑務所側に出すんですけど、教誨の場合は、教育統括…教育の一番上の方に宛てて、個人教誨願…例えば、「キリスト教の勉強をしたいので、カトリックの神父様の個人教誨をお願いします」とつていう願箋を出すと、刑務所

の方から神父様に打診するんですね。「こういう願箋が来ているんだけど、刑務所の方にいつ来られますか」っていうお話をして。で、いついつ行きますっていう話をすると、個人で、神父さんと受刑者で教誨ができる。ただ、必ず教育の職員が立ち会います。

僕は少年の方は分からないんですけど、個人教誨で神父様の方にリクエストが来たことはありますか。

## 藤

K施設の場合だったら、最初の何年かは、一年に一回とか。その頃は、釈放つて言つて、釈放前、強制的に教育を受けなければならぬ制度がある。これが一番大変なんだけど。これの後に、そういう願箋が出てるので、「やっていただけますか」って来たことはありません。

もともと、一般の人がイメージする教誨師は一対一だと思うんですが、私もそう思っていたんですけど、やってみたら集合ばっかりだったので、大変でしたね。

一方、個人教誨っていうのはとてもやりやすいです。二つちが喋ることよりも、聞くことの方がメインになると、あとは結構、あんまり詳しく言えないんですけど、感動的なドラマは個人教誨の中にあつて。

少年の場合は、係員がつかないので、集合教誨で使っている教室のようなところで、一対一でやるんですね。で、机があつて、私が移動して並んで座つて話を聞いても大丈夫。

## 五

成人の方はなかなか難しいんですね。机があつて、神父様と対面してやる。他の刑務所は分からないんですけど、僕の場合は、職員が自由にしてくださつたものですから、単刀直入に牧師さんに色んなことが聞けた。個人的なプライベートなこととか、自分の被害者に関する思いとか、「二つちの場合はどうしたら良いんですか」とか。

たまたまその時、牧師さんが変わったばかりで、自分が質問したら、その牧師さんが、「二つちという本があるんだよ」っていう本の紹介をしたんですね。それで、「今度君のところに持つていつてやるから」って言ったんですよ。その時はさすがに職員が、「先生、それはできません」って言ったんですけど。受刑者に何かを渡すつていうことは、教誨師さんでもできない。教誨師として、本のタイトルを教えるぐらいはいいんだけど、物をあげるとかはできない。神父様の方には何かそういうリクエストはありましたか。

## 藤

リクエストがある時は、「私に直接言わないで、職員を経由して頼んでくれ」つて言うと、大体それでブロックされるので。

K施設に関して言うなら、結構みんないい……最近、集合教誨に行くと、ほぼ二人ぐらい、個人教誨をやるつていう状態が続いて。もう自由に喋つているんだけど、何かリクエストしてくるつていう人は、いない。昔、「ロザリオが欲しい」とか言われたことがあつたけど、私に言うたんじゃなくて、職員に購入してもらいたいことを頼んで、職員もどう買つたらいいか分からないから、私にどこでどういうものが売つているのかつて問い合わせが来たことがあるけど、私に「差し入れてくれ」つて直接言う人は、少年やA級ではないですね。



Y・Rさん

## 刑務所は修道院と似ている

### 五

マザーハウスで関わっている中で、無期の方が結構いるんですけど、無期の方すこいなる。信仰がものすごく深いんですよ。手紙をもらうにしても、聖書の言葉に関して深い内容のことを書いてくるんです。

個人教誨が集合教誨で、結構、刑が長い方との交流はありますか。

## 藤

K施設の方ではあんまり無いけれども、施設名を言えない所では、ありますね。やっぱり、刑の長い人は、シチュエーションだと、深くなりやすい……ある意味、隠遁者のシチュエーションになっちゃうてるから……独居に入つているような人だと……

そうすると、よく私が刑務所の人に話すのは、伝統的な昔の修道院と刑務所は非常によく似ていると。違ふ所は何かつて、刑務所は入りたくないのに入れられる、修道院の場合は好き好んで入ってくる。でも、造りから、やつていることから、私はどつちも本格的に入ったことがないから言えないんだけど、非常に似ている。

結局、天国の著の話と同じ。天国も地獄もどちらもテーブルの上にごちそうが山盛りあって、状況は全く同じと。ただ、日本の場合は長い箸、外国の場合は長いスプーンで、天国の場合は長すぎて決して自分では食べることができないのを、お互い食べさせ合うからみんな満腹になるけど、地獄は自分で必死に食べようとすると、誰もごちそうを目の前にして食べられない。

刑務所と修道院ってそんなかんじのかなって。実際のところは詳しく知らないけど。

## 五

僕、一度、イグナチオの霊操をやらせていただいた時に、千葉の白子に「十字架のイエス・ベネディクト会」という修道会がありまして、そこに十日間、泊まらせていただいたんですね。正直な話、刑務所より厳しいなと(笑)。

## 藤

実際に、教会の中で問題を起こした神父が、国の法律で捕まらない時は、司教命令で、そういうトラピスト(観想修道会。基本的に修道院の中だけで、祈りと観想、労働を中心とした生活を送る)とかに送られることがあるらしい。まさに刑務所。

## 五

僕がびつくりしたのは、その修道院、テレビがないんですよ。食事の時に、ただ音楽が、それもおそらく聖歌だと思っただけで、それがかかっているだけなんです。それで霊操の期間中は、何しろ喋っちゃダメだって言うんです。朝から晩まで。それを十日間やるっていうのが厳しかった。

刑務所でも、喋っちゃダメって決められているのは場所だけですからね。普通は、部屋に帰ってくれば自由に懇談できるので。喋ることができないのはすごく辛かったです。

個人教誨をやって、話が止まらない受刑者って結構多いんじゃないかなと思うんですけど。

## 藤

何て言ったらいいかな…そういう時期もある。最初の頃とか、そういう時期もあるけど、しばらくやっていると、そうではなくなる。

## 教誨師の養成はない

## 五

私の知り合いに、東京拘置所に行っている神父様がいます。死刑囚の場合は、

執行とか色んなことがあった時に、神父様の方に連絡が行くそうなんです。いついついうわけです。神父様はそれを絶対に公にできないんですが、神父様が僕に言ったことは、「僕は彼らのことを友達だと思っている」って。だから、面会があった時には、「さよなら」っていう言葉をかけないんだっていう話を聞いたんですね。やっぱり、「さよなら」って言うとき、永遠にバイバイしちゃうようなかんじなので。

カトリックの中でも教誨師連盟っていうのがあって、色んな教誨師がいると思うんですけども、教誨師連盟の方から、「こういう接し方をしてください」とかアドバイスみたいなものはあるんじゃないかな。

## 藤

無いですね。ぶっちゃけ、教誨師って養成がないので。私が始めた時も、一回、前任者の神父さんの教誨を見たんですが、ほとんどゲツセマネの弟子(起きていなさいと言われたのに寝てしまった)状態です。

教誨師連盟の研修会とかはすごく頻繁にやっているけど、あれがそのまま現場で使えるかと言つと…色んな制度とかシステムとか、バックグラウンドを学べるけど、中にはメンタルな指導もあるから一

概には言えないけど、指導が直接、教誨でやることに役立つというような養成はないですね。

## 五

じゃあ、各々の神父さんが自分の考えに基づいて接するということかたちであって、大まかに「教誨師になったから、こういう風に接してください、こういうことをやってください」っていうことは全然ないですか。

## 藤

施設側も、向こうが何か困ることだと「それはやめてください」って言うかもしれないけど、基本的に施設側も何も言うてこない。

あと、釈前の場合でさらに困るのは、釈前は強制参加なんですけど、宗教に強制参加はさせられないんですよ。だから、宗教の話じゃなくて、さらに一般的な話…宗教と人生っていうタイトルをめぐって、特定の宗教の話ではなくて、一般的な道徳的な話をお願いしますって、一時間…そもそも、そんな話をする訓練も教育も受けていないけれど、そういうのをお願いされることがある。それに比べて、個人教誨は悩むことはないっていうか。

## 受刑中の洗礼について

### 五

僕は岐阜刑務所にいた時に、洗礼のことを考えていまして、ある時、教育課の職員に「洗礼を受けたいんですよ」って話をしたんですね。

当時、僕は、写真の中で、川の中でドボンと漬かっただボンと上がるやつを見たんです。で、刑務官に「洗礼を受けたいんです」って言ったら、「お前どこでやるんだ」って聞かれたので、「刑務所の浴槽は広いですから、あそこでドボンとやれば大丈夫じゃないですか」って言った。そしたら、「馬鹿野郎、あれは風呂場だぞ。そこで何で洗礼を授けられるんだ」って。「だって、本にこう書いてありましたって言ったら、大笑いされて、「それは無理だ」と言われた思い出があるんですけど、神父様は、刑務所の受刑者から「洗礼を受けたい」という相談を受けたことはありますか。

岐阜刑は未だ洗礼を認めていなくて、千葉刑務所ではこの間、第一号が無期の方で出たつて。基本的には、刑務所側は、受刑中に受けるのではなく、表に出て教会に行つて神父さんに話をして、つていうことを言っているみたいですけど。

### 藤

基本、洗礼がすんなりできるのは死刑確定者、だから拘留所であつて、刑務所の場合は非常に難しいです。出れる可能性がある限りは、中では…。

### 五

今は、無期の方は、三十五年から四十年入つていないとなかなか出れないので、そういった方の場合、特例として刑務所側の判断でやっている所はあるみたいですが、基本的にはさせてくれない。だからこそ、余計に、長期の方の場合は、深く入つて行つちやうつて言うんですかね。すくく一瞬、僕は怖いこともあるんですね。

### 藤

ああ…なんか想像がつく。要は、余計な誘惑とか、割と純粹になりやすいから、要はある意味、滅菌状態というか。刑務所の場合は、悪いことを勉強しようと思えば犯罪の大学になるし、同じ場所で信仰を深めようとするれば、修道院じゃないけど、それもできる。

### 五

すくく信仰が深まった時に、正直な話、指導者がいないと、カルトつて言うんですかね、そつちの方面に行つちやう人も…

手紙をもらう中で、そう感じる時がある。一応、国としては、宗教は自由なので、刑務所側が「これをやりなさい」つて言うのはダメなんですけど、僕の中では、もうちょっとキリスト教の枠を広げてほしいなあとは思っています。

今、教誨師の数つてどのくらいいらつしゃるんですか。カトリックの方では。

### 藤

カトリックは、五十〜六十人いるかな。

## 所属刑務所以外に

### 教誨に行くことは難しい

### 五

実は僕、月形刑務所の方からお手紙をいただきまして、神父さんと個人教誨をやりたいた。ただ、月形刑務所は、カトリックの教誨師さんがいらつしやらなかつたんですね。で、たまたま、広島に行つた時に、M神父様と交流を持つことができたとして、突然そのM神父様のとこに電話して、「月形にこういう人がいるんですけど、行つてもらえませんか」つてお願いしたことがあるんですよ。そしたらその神父様が「いいよ」つて行つてくださつて。月形の場合は、月形刑の教誨師ではなくても、他の刑務所で教誨師を

やっているつてことで普通に面会をさせてくださるつていうお話を聞いたんですけど、関東関係では、神父様の知つている範囲で、教誨師が自分の行く刑務所以外の所に行くつてできるんですか。

### 藤

基本、行くことはできない。自分が所属している施設限定ですよ。複数行つている教誨師はいるけれども、それは元々、複数所属している。

まずは県と、例えば東京とか千葉とか、都道府県ごとに教誨師会つていうのがあつて、まずそこに所属すると、その所属している中で、自分の行つている刑務所に所属する。だから、全国と都道府県と所属刑務所。所属しているところ以外には、基本的には行けない。

わたしがあなたを助ける



作者不詳

受刑者に色々な人との個人面会が可能  
な刑務所なら、あくまでも個人として  
面会できるけど、刑務所の場合、面会  
が相当、制限がかかっているところがある  
から、親族とかじゃない場合は面会で  
ないことが多い。

ただ、拘留所の場合は、確定する前の  
話だけど、一日に一回は、外部の者は  
誰でも入っている人が「会いたくない」  
って言わない限りは面会できるので、拘留  
所だったら頼まれたら行けるけど、それ  
は教誨師として行くんじゃないくて、一面  
会人として、アクリル板越しに。時間は  
十五分とか言っているけど、場合によつて  
は五分くらいとかね。

## 〇神父との出会い

### 五

僕は拘留所にいた時に、たまたまパウ  
ロ会の方から〇神父様を「紹介いただい  
て、お手紙を出したんですね。教誨が  
受けられるっていうことを言われたんで。

そしたら、神父様が、「願箋で個人教  
誨を出してください」って言ったので、個  
人教誨の願箋を出したんですね。一回  
目はダメだったんですね。未決は、確定  
した受刑者じゃないので、一般の面会は  
できるんですけども、教誨はできないと。

そこで、〇神父様にまた手紙を出して、  
「教誨はできませんって言われました」と  
書いたら、どこでどうなったのか分からな  
いんですけど、いきなり刑務官が、呼び  
出しをして、「五十嵐、来い」って。で、  
部屋に行つたんですけど、「実は面会が  
ある。教誨が受けられるから」っていう  
ので、その時に、ブラザーEさんからも  
らった本と聖書を持って…未決囚の人間  
が、確定した受刑者が所属する刑務所  
側の部屋に入っているというのは、本来はあ  
り得ないんですけど、特別に行かせても  
らった。

その時が、〇神父様との最初の出会い  
だったんですけども。僕は何にも分か  
らなかつたので、いきなり、「僕、神父に  
なりたんですけど」って言ったんですよ。  
そしたら、「なれない」って言われたんで  
すね。だから、「修道士になりたい」って  
次に言ったんですよ。そしたら、「なれな  
い」って。「じゃあ神父様、信者にはな  
れますか」って聞いたたら、「なれる。その  
代わり、なるんだったら、本物になりな  
さいよ」って言われたんですね。  
その言葉が、僕にとっては今でもずっと  
…心に残っている。

〇神父様は長らく、非行少年関係のこ  
とをやっていたんですね。

## 藤

始まりが…警察に追われている信者  
の息子を、捕まる前に国外逃亡させて  
(笑)。

### 五

実際に、神父様の教会の方に、非行を  
してしまつた少年なんかを訪ねてきたこ  
とはありますか。

## 藤

無いね。〇神父様も始まりは信者の息  
子だったけど、信者の中の少年、青年で  
は時々あるけれども、外からは無いね…。

## 神学生のうちに刑務所に触れる

### 五

つい先日、大杉漣さんの「教誨師」っ  
ていう映画が解禁になって、一度見たい  
なあと思っていますけど、神父さんが神  
学校にいた時、教誨師の仕事についての  
話とか、刑務所参観に行く機会とかは  
ありましたか。僕はブラザーEさんから、

よく「神学生を連れて刑務所に行つてき  
た」っていうお話を聞いたものですから、  
神学校の学生さんって、そういった参観  
をして、いつかやりたいなって思った時に  
そういう任命もあるのかなって。

## 藤

私の頃は全然なかつたし、それこそ  
ドラマか映画の世界で、私の周りの神父  
でも、誰も教誨師の神父はいなかつた。  
間接的に聞いたのは、日本の教誨師つ  
ていうのは、教誨師をやることでの収入  
よりも、年会費とか、出すことの方が…

だからあれば、お金をもらつてやる仕事  
じゃなくて、お金を出してやる仕事だつ  
ていう話を聞いたから、あんまりお金が  
ないと教誨師ができないっていうイメージ  
だった。

### 五

マザーハウスの理事である日本カトリッ  
ク神学院の神父様に、「神学校でお話を  
させていただきます」ってお願いに上がったん  
ですけど、結構ハードルが高いんですよ。  
やっぱり、外部の人…ましてや元受刑者  
を呼ぶっていうのは…。

でも何とか、ようやくそれが叶つて、  
何回かお邪魔して、今年も十二月にお  
邪魔するんですけど。

やはり神学生時代に刑務所のことにつ  
いてある程度レクチャーを受けるのと、  
司祭になつてから何らかのきっかけで、例  
えば信者さんの息子さんとか、関係者が  
そういうところに行つたことで、「神父様、  
実はこういうことがあったんですけど、ど

うしたらいいんですか」って相談が来るの  
とでは、神学生のうちにそういった学び  
はした方がいいんですかね。

藤

それはまあ、神学生のうちに、そうい  
うことは…私の頃は、神学生はマックと  
かダルクとかね、そういった所に研修に  
行くことはやってたから、そういうかた  
ちではあった方が良くと思う。

(…来月号につづく)



Y・Rさん

## わむきみつお

### コーナー

#### 急性混合性白血病の癒し

\* ブログ : <http://ixsasaki.ti-da.net/>

しかし、検査の結果、やはり白血病が  
疑わしく、その日のうちにS総合病院で  
骨髄検査をしてみました。そして、  
「急性白血病です」と告知されました。  
白血病にはいろいろな型があり、それ  
によって治療法が違うことを説明されま  
した。「何もしなければ二〜三か月で死  
んでしまいます。すぐに入院しますか？」  
と言われました。

私は、イエス・キリストがたくさん奇  
跡や癒しをしてくださるということ信じ  
てきました。イエス・キリストの十字  
架の打ち傷によって病が癒される（イザ  
ヤ書五十三章五節）と信じていました。  
ちょうど五月には大きな聖会があり、た  
くさんの癒しを見ていました。

私は看護師でしたから、白血病と聞い  
て、これはすぐにでも死んでしまうかも  
しれない大変な病気だと分かっています  
た。でも、不思議と私の内側から、「癒  
される。イエス様に癒していただきたい」  
という思いが与えられ、そのことを口で  
告白しようと思いました。

聖書の中で、みことばに書いてあること  
を信じて口で告白することの大切さを、  
イエス様が何度も教えてくださっていま  
す。だから、「今、言わないで、一体い  
つ言っのー」と思いました。

診察室で、「先生、私はクリスチャンで  
す。私はこれから祈ってもらいます。だ  
からすぐに入院はしません。そして必ず  
治ります」と宣言しました。

白血病が分かった日から、Sリバイバ  
ルチャーチの皆さんを初め、たくさんの方  
々の熱い祈りがささげられました。文  
字通り、早朝から夜中まで途切れなく、  
たくさんの方々の祈りが積ま  
れました。もちろん、私も聖書に書いてあ  
る、イエス・キリストの癒しを信じて祈り  
ました。

二日後の六月一日に、正式な病名が  
「急性混合性白血病」と告げられました。  
セカンドオピニオンにも行きました。血  
液内科の権威であるK病院を紹介され、  
さらに詳しい説明でした。

「化学療法で悪い細胞が消えない可能  
性が高い」「悪い細胞があつても、治るか  
分からなくても、移植に踏み切るしか  
ない」「他に手立てはない」「治療の成功率  
は、移植をしても五十パーセント」「移  
植後、正常な体に戻って普通の生活がで  
きる可能性はさらに低い」「移植しても  
再発の可能性もある」と言われました。

その医師にも、「先生、私はクリスチャ  
ンです。たくさんの方が祈っています。  
神様が付いています。必ず治ります」と

二〇一七年五月末に、私は急性混合  
性白血病と診断されました。白血病の  
なかでも四パーセントと言われる、骨髄  
性とリンパ性と二つの性質をもっている難  
しい型でした。

通常、白血病というと、白血球数が  
異常に増えたり、貧血だったりします。  
でもそれは全くなかったのです。お腹が  
痛くて近所の病院にかかり診てもらった  
ら、採血結果が芽球五十%、異常はそ  
れだけでした。

お話ししました。紹介状にも、私がクリスチャンとは書いてあつたようです。

六月十二日から、寛解導入療法という化学療法を始めました。医師からは、「まずリンパ性白血病の治療をする。骨髄性白血病の治療はその後」と言われていました。通常、悪い細胞五パーセント以下を「寛解」と呼びます。その寛解を目指すための治療です。まず、リンパ性白血病の治療をするわけですから、その間に骨髄性白血病が悪くなる可能性もあるわけです。

でも、奇跡的に一週間で悪い細胞が消えました！なんとゼロになったのです。リンパ性白血病細胞も骨髄性白血病細胞もゼロでした。前述通り、通常、悪い細胞五パーセント以下を「寛解」と呼びますが、私は「ゼロパーセント」でした。

「白血病細胞は、細胞分裂が早く、何度も化学療法をしないとけません」と医師に言われていました。初めの説明では、一回につき十〜二十一日の化学療法が六クール予定されていましたが、体に負担になるので、一クールして二〜三日休んで（一時退院）、次の治療をします。私の場合は、その一クール目の一週間でゼロになり、その後もずっとゼロのままでした。

治療中、以下の聖書のことばを祈りの中で約束として、宣言して祈りました。

「信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばで語り、その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば癒されます」（マルコ十六章十七〜十八節）

病気になる以前は、「今の時代、『毒』ってなんだろう」と思っていました。化学療法はまさしく「毒」のように、良い細胞も殺します。副作用が辛いのです。この聖書の言葉を祈りの中で祈りました。

たいていの患者さんは、四十度近い熱が出たり、副作用で他の臓器が悪くなり、予定通り治療できない場合がほとんどですが、私の経過が順調で、「出る」と言われた副作用はほとんど出ないか、出ても軽く済みました（自分としては辛いと思っても、通常に比べれば…ということだったようです）。

一度、熱が下がらず、苦しんだ時がありました。その時は辛かったですが、その熱のおかげで、予定されていた残り半分が一番苦しい薬の治療をしなくても良

くなり、一時退院が早まるというプレゼント付きでした。

その後続く治療の中でも、私にはその時は分からなくても、神様はいつも良い方だと、振り返っていつもいつも思われました。

次のクールまでの一時退院は二〜三日と言われていましたが、状況が良いので、一週間〜十日いただくこともできました（毎回、「熱が出たらすぐに病院に戻るように！」と言われての退院でしたが、熱は出ませんでした）。

六クルールの予定の化学療法は三クールで終わり、K病院へ転院。悪い細胞がゼロの良い状態で、十月二十五日に造血幹細胞移植、いわゆる骨髄移植をしました。この移植も、肉親である姉から、HLA型という白血球の血液型が私と全く一緒（フルマツチ）、そして寛解しているという移植には最高に良い条件で移植をすることができました。

移植日、教会でも夜中まで大勢の方の祈りがささげられていました。私は移植の直前、「祈ってもいいですか？」と医師、看護師さんに声をかけ、癒しの感謝の祈りとすべて守られることの感謝の祈りを捧げてから、移植をしていただきました。

移植前の説明で、「口の中が喉までただれてしまい、痛みで水も飲めなくなる」ことがあります。そうしたら強い痛み止め（麻薬）も使えますから、いつでも言ってください」「味が分からなくなることがありますよ」「GVHDと言って、命に係わる重篤な症状が、腸・肝臓・皮膚に起こることがありますよ」などなど、言われていました。

でも、いずれもひどく起きることなく、医師や看護師に、「喉、痛くないですか？あれ？痛み止め使っていないんですか？」と言われ、「はい！痛みありません。痛み止め使ってません！」と答えています。「こはん食ってるんですか？」「はい！食ってます！」。そんな感じでした。



Y・Rさん

移植前にはだいたい一月末くらいまで入院、早い人で一か月半と、言われています。

移植前の説明の際に、「クリスマスまでに帰りたいです!」と言う私に苦笑いの主治医でした。しかし、経過はとも順調、奇跡的に十一月三十日に退院することができました。

退院前には、「ほとんどの患者さんがすぐに再入院してきますから、無理しないでね」と看護師にも医師にも言われました。肺炎やその他の感染症で再入院するんだそうです。

免疫力が落ちているので、人の菌のみならず、普通に自分にいる菌が悪さをすることがあるそうです。それは、セカンドオピニオンを受けたときにも言われていたことです。

でも、今日で移植後百日。退院後二か月発熱もなく、経過は順調。今は、免疫抑制剤とステロイドを飲んでいて、感染予防のため自宅療養中ですが、再入院せず過ごせています。

癒し主であるイエス様に心から感謝し、神様は良い方であることを心から賛美します。

理事長の奥さんによる

## 育児日記

最近、A君は神様のお話をしています。

寝る前に、「ほねがおれたら、ちゅつてすればなおるってかみさまがいつたよ」と言うので、「どこそんなこと知ったの?」と聞くと、「てんごくにいたときに、かみさまがおしえてくれたんだよ」と言っていました。

幼稚園に行く途中に祠があるのですが、そこでA君は、「かみさまありがとうごさいます。きょうもこどもたちをおまもりください」とお祈りしていました。

Kちゃんは、「魔の二歳」と言われるイヤイヤ期に突入し、機嫌が悪いと、おもちゃの取り合いでRちゃんを泣かすことがあります。

それを見たA君が、Kちゃんを叱り、Rちゃんを抱きしめています。妹を溺愛しているA君はすっかりお兄ちゃんになってきました。

クリスマスプレゼントをもらった時の子供たちの喜んでる笑顔を見るのが、今からとても楽しみです!



へんなかお♪

## 塀の中のたより

—受刑者からのお手紙—

### 冬来いなば春遠からじ

Sさん

青森も一段と秋が進み、朝・晩は肌寒く感じるほどです。刑務所での夏期処遇も終了し、冬期処遇に変わりつつあります。十月半ばも過ぎると、日一日と寒さが増し、十一月に入ると、雪が降る日が出てきます。十二月に(工場に)暖房が入るまで、厳しい寒さを凌がなければなりません。

逆境を耐え忍んだ後にくるもの…「冬来りなば春遠からじ」という名言で、私の支えにもなっている言葉があります。暗い、寒い冬(獄中生活と重なります)の後に、明るく暖かい春が訪れるのは、天地の理であると信じます。人の運

命も、逆境に耐え忍んだ後には、必ず浮かび上がる時期が巡ってくる信じます。冬をじつと忍ぶだけの忍耐、克己が何よりも大切なのではないでしょうか。

「これから冬に向かい、青森も雪に埋もれ、極寒での生活となりますが、雪解けが始まる頃には、春の訪れとも重なる私の出所日が来ます。

## 最初に決めていても、

### 人の心はブレやすい

クレイジーROSEさん

後悔先に立たず…最近よく思います。

私は初めの頃、「きちんと刑を務めて、待つてくれている人に恥ずかしくない受刑生活を送ろう」と、無事故で出所すると決めていました。そして、この中で出来ることと思い、嫌いだつた勉強を始め、高卒認定試験を受けたり（現在は全て合格）、職業訓練を受けさせてもらったりしました。

しかし、職業訓練終了後に懲罰となり、その後も続けて懲罰、最近では四回目の懲罰となりました。今回の懲罰が明けた後、同じ工場に戻りましたが、担当の信用はガタ落ちで、「いらぬい」とまで思われてしまいました。私のしたことで自業自得ですが…後悔しました。

調査に入る前に、主任とも話し、自分のことを見てくれている人がいることを知りました。先生（刑務官）たちも、仕事だからやっているだけと思つていましたが、私のことをちゃんと見てくれていて、考えていてくれる人はちゃんとしたのです。それを知らず、見ようともせず、その人たちを裏切つてしまったのは自分です。

今の私に出来ることは、もう一度、自分のやるべきことを考えて生活していくことです。先生たちは、「謝られるよりも、これからの行動であらわすことの方が大事」と言います。

確かに、謝ることはいくらでも出来ませんが、しかし、行動であらわすことは、言うよりも難しいことです。最初に決めていても、人の心はブレやすいもので、これくらいなら…と甘えが出てきます。

自分に甘くなるか、厳しくなるか…「くさるな私」と、毎日自分にカツを入れて、残りの受刑生活を頑張り、一日も早く社会復帰できるようにしていきたいと思つています。

今回、初めて書かせていただきました。懲罰を繰り返した私の決意を込めて…絵も一緒に同封いたします。

クレイジーROSEさん



## 和しても同するなかれ

一兵さん

「いい人」と評されている人ほど、他人の都合に振り回されてストレス過多となり、心を乱してしまいがちです。何かしらの頼まれ事を断ることが出来ず、でも内心では断りたいと思つても、つい「はい」と請け負つてしまいます。

言いたい事があつても、黙り込んでしまう。それは、人に嫌われたくないという不安感から、自分が「いい人」でいたいと思つているのかもしれない。しかし、無理をしてまで、「いい人」でいると、不平や不満が溜まって心が乱れ、ふとした事がキツカケになって、怒りが表出しかねません。

中国の思想家である孔子は、「和して同せず」と言っています。「和す」とは、周りの人々と仲良くする事で、「和して同せず」とは、「周囲と協調はするが、むやみに同調せず、主体性を持つて生きる」という意味です。

いくら仲が良くても、自分の意思を明確に伝えることが、「和して同せず」の良い関係だと私は考えます。周りとの仲良く、そして自分らしく。その二つのバランスを上手に保つていく事が、心を平穩にして生きていくコツなのではないでしょうか。

## 被害者からの言葉

H・Kさん

私事となりますが、来週で四十歳の誕生日となります。気持ち新たに、満期まであと約一年半、悔いが残らないように、自分が今以上に変われるように、努力していきたいと考えています。

そして今、弁護士さんを通して、事件の被害者の方々に対して、ここで働いて貯めた作業報奨金で弁済するための手続きをしています。有難いことに、弁護士さんの手紙では、被害者の方々が弁済に応じてくれるとのこと、また、被害

者の中からは、「今後の再犯防止のために尽力していただきたい、二度としないよう気持ちを入れ替えて頑張っていたください」との言葉もあつたとのことで、その被害者の方々の気持ちを知り、涙が止まりませんでした。

自分が傷つけた被害者の方々からこのような言葉を頂けたことに、感謝の思いでいっぱいになりました。これからしっかりと、この言葉に答えられる人間になるためにも、もつともつと努力していこうと決意しました。

十二月から、炊場工場の複数ある班の中で一番責任のある班（釜、焼き屋、割菜）の親方が社会に帰ります。その後、その親方の役を自分にやつてほしいと、工場担当のオヤジ（刑務官）さんに言われ、今はそれに向けて、色々と親方から教えて頂き、準備をしています。

全国の収容施設で、この炊場は調理機械が一番整っているとのこと、最近では、収容生活をしている皆さんや、担当（オヤジ）さんや、いつも献立を考えてくれている栄養士さんに恩返しをするために、創意工夫で色々と提案させて頂き、人の役に立てることに、やり甲斐や生き甲斐を感じながら、日々、感謝させて頂いています。本当に恵まれた環境に感謝しています。

## 文通での交流を通じて

N・Tさん

僕は以前、MLP（文通）でHさんという方と二年以上文通をさせて頂き、キリスト教のこと、社会に居た頃に起きた辛かった出来事、天国へ旅立つた僕の両親のことなど、それはそれは、こんな出来の悪い残念な男の話を、真剣にいっぱい聞いてくれて、いっぱい慰めてくれました。だから僕は、この方に少しずつ心を開き、今まで人に話したことのない過去の辛い思いの出来事を、いっぱい聞いてもらい、ずつとずつと大きな愛で支えて頂きました。

そしてある日、このHさんが体調を崩され、入院する事になる、と言われました。入院されてからも、Hさんは良くない体調の中、僕の為に無理な体で一生懸命、手紙を書いてくださり、僕が「僕なんかの為に無理して手紙書かなくていいですよ。今はゆっくり体を休めてくださいね」と書いたところ、Hさんは、「私がNさんに手紙を書きたいから書くんです。無理はしていません。Nさんに手紙を書くのは私の楽しみの一つなんです。だから気にしないでください」と書いてくれました。

そしてある時、Hさんの字がいつもと違い、読めるか読めないかというくらいに崩れていた時があり、随分と体調が悪いのでは、とすごく心配になりました。そしてそれから、少し間を置いて、久しぶりにHさんから手紙が届き、「Nさん、私、なんとか生きて、無事に退院して、家に帰ってくるのが出来ました。子宮がんで、八時間にも及ぶ手術を終え、無事に生きています」とありました。

Hさんは闘病中も手紙をくれ、「私もしものことがあっても、Nさんのことはずつと忘れません。そうなった時は、いつもあなたのことを天国から見守っています。Nさんは、病気になることなく、元気でいてくださいね」とありました。この方は、こんな状況においても、こんな僕を想ってくれ、ずつと手紙をくれて心配してくれていたんです。涙が出ます。

そしてそれから少しした後、マザーハウ入事務局よりお手紙を頂き、Hさんが天国へ旅立つたと知りました。その数日後、今度はHさんの息子さんから、詳しい報告の便りをわざわざ頂き、どのようにHさんが天国へ旅立つたのか、知ることが出来ました。

今までHさんから頂いた、百通を超える手紙を全て読み返していると、改めてこの方の優しさに涙が流れました。

息子さんのお便りには、こうありました。「母はあなたとの文通を心から楽しみに、いつも病院のベッドの上でもペンを走らせていました。母と心のこもった文通をして頂き、その息子として、心から御礼申し上げます」と…。有難いお言葉、とんでもないことです。御礼を言うのは僕の方なんです。

Hさんは、息子さん、娘さん、お孫さんが四人いらつしやいます。お孫さんの成長を楽しみに語っておられました。まだまだ生きたかったろうに、お孫さんの成長を見守りたかつたろうに。

Hさんは、僕の母や僕と同じ五月生まれです。そして、命日の月が母と同じ六月、母と同じ五十九歳という若さで天国へ旅立ちました。これもまた、不思議な事に、病名まで同じでした。僕は、Hさんを、十年前に天国へ旅立つた母とどこか重ねて想っていました。

何の利も得る事のない、僕なんかとの関わりで文通をしてくださり、根の深い優しさと愛で僕を支えてくれたHさん。元気だった頃のHさんの字。闘病中、病院のベッドの上で書いた、いつもと違う崩れた字。今まで頂いたこのHさんからの手紙、これは僕の宝物です。でも、見ていると涙が出ます。

僕はこのMLP文通に参加させて頂き、Hさんと巡り合い、いっぱい真心を人様から頂きました。世の中には、この方のように、人様に深い優しさと愛をもって想いを分け、与えられる方が本当に居るんだなと感じました。上つ面の優しさなんかじゃなく、深い優しさと愛で僕を包み込んでくれました。

僕はこの方と出会って、僕も人様に少しでも微力ながら、人に愛をもつて接し、誰か人の為に救える力になれば、と思うようになりました。とてもそんなことを言えたような男ではないのですが、Hさんのように、根の深い優しさを持たてた人です。

母と同じクリスチャンとして生きてこられたHさん、キリスト教の信仰についても色々と教えてくれたHさん、人の温もり、優しさを教えてくれたHさん、本当に本当にありがとう、という想いはかりです。



Y・Rさん

### 相手の気持ちを考えたらずい止まる

H・Kさん

さて、私は最近、理事長の言葉に「ドキーン」と思うことがありました。私は、出所後に自分が再び罪を犯すことは無いと思つていますが。しかし、理事長は、そう思っている人が一番危ないと言つています。では、自分は何故、「再び罪を犯さない」と言い切れるのか。それは、自分と向き合い、今回犯した罪に至るまでの経緯、原因を見つめ直し、その結果、自分に足りないもの、身に着けるべきものがはつきりしたからです。私に足りないもの、それは人を思いやる心です。

私はここに来て、自分が被害者にしたようなことを、たくさんされました。とてもつらかったです。これこそ因果応報だと思いました。この時初めて、被害者の気持ちの方が分かった気がしました。こんな傷付くことを、つらいことを、自分は人にしていたのです。そう気付けたことで、人の痛みを考えるようになり、今まで自分が自分本位に生きてきたことや、何人も人を傷付けてきたことで頭がいっぱいになり、悩み続けました。

そんな私に答えを出すヒントをくれたのは、文通相手からの「言葉のプレゼント」でした。「隣人を自分のように愛します。少なくとも、そうするように努めます」。文通相手を書いたこの言葉を読んだ時、自分のことを大切にするように周りの人も大切にし、思いやるように努めよう、と思つたのです。

犯罪のほとんどは、相手の気持ちを考えたら思い止まるし、相手を思いやる心を持つている人は、犯罪など選びません。これからも、相手を思いやる心を強く持ち、自信を持つて、「もう二度と、罪は犯さない」と言える状態で、出所の日を迎えたいです。

これからも、自分のため、支援してくれる人のためにも、更生の道を進みます。今後もよろしく願います。

### 手続きの改善案

O・Kさん

刑務所では、毎週ものすごい量の本が廃棄されています。

所内にも寄付本の制度があり、心ある人は廃棄する位なら、指定日の前日に願ひ出て、寄付本を入れる袋をもらい、その中に本を入れて翌日、特定の場所に

置けば、その本は寄付されます。しかし、その手続き（「指定日の前日に願ひ出て…」）が忘れやすく、面倒と感じる人が、本を廃棄することになります。

この手続き方法に問題があるのは誰の目にも明らかなのに、誰も損をしないからか、改善の兆しがありません。私は思います。捨てる本をどうしても寄付したくない人だけが、面倒な手続きをすればいいのではないかと。その他は、自動的に寄付に回るような仕組みができるといいのになあ、いつも思いますが…。

ただ、全ての本が寄付できるわけではなく、色々な問題があることも分かりませんが…。



H・Kさん

## 刑務所の味噌汁

きりさん

「福音たよりミニ」（毎月希望者に、ミサ説教をまとめた「福音たよりミニ」を送付しております）は、不思議と現状に合ったものがお話の中にあり、半月ぐらひかけて読み進めては少し戻ったりしつつ、考えさせられることがあつて、それが確実に自分の糧となっている確かな実感はまだないものの、チリのように僅かでも私の中に積もり、考えが蓄えられているのだと信じて読ませて頂いています。

第三号では、日々行う朝夕の祈りが、毎食、体にご飯を頂くことで受ける栄養と、同義として考えるお話がありました。そして、日々の出来事も料理して（いわば、捉え方、解釈を変えることだと思いますが）受けることで、恵みとして頂くというお話に考えさせられ、感銘を受けました。祈りの時の気持ちにも変化が起こりました。こうしたこと、与えられた恵みなのだと思います。

また、若干、不満にはなりますが、「心が温かい親ならば、子どもに十分に栄養のある食事を与える」という部分を読んで、思い出したことがあります。

私は施設に養われている身ですが、週末の度に朝食の味噌汁から酸味臭がするようになり、「臭い」と言ったところ、「保存の状態、乾燥などでそうなるだけで、食べるのに問題ない」という回答でした。

理由が分かっているなら対処できるはずですが、改善はされていません。

不快な臭い、生乾きのタオルのような臭いのする味噌汁を、健康に問題がないからとそのまま出し続けるのは、「温かみ」のない手抜きであるように感じました。

日々の食事は数少ない楽しみ、感謝を捧げるものでもあるため、なかなか耐えて済むというわけにもいかず、一日の始まりから調子を狂わされました。

寒さが増して、このような現象が減ったため、感謝しているのですが、その分、やはり食材の傷みが原因のように思えるのです。

このような現象に、皆さんは、心当たりはないでしょうか？



## 職業訓練先の食事

おたふくさん

お疲れ様です。私は今、F刑の溶接科に職業訓練に来ております。

今回で二回目の職業訓練ですが、感謝の気持ちを忘れず、精進してまいります。

さて、これから職訓に行こうと思われている方、または興味を抱いている方の参考になればと思います、今回は食事について書かせて頂きます。

この配食は、言うまでもなくザ・刑務所です。基本、味が薄く質素です。個人の好みもあると思いますが、美味しなものもあれば、「これは…」という残念なものもあります。

名産が厚揚げということもあり、配食にも頻繁に出てきますが、これはウマイ。さすが厚揚げ消費量全国一位の県だけあるな、と思います。ちなみに、前にいたO刑では、毎日、シイタケなどのキノコ類が出て、肉を食べない日はあつてもキノコを食べない日はありませんでした。集会の甘味品は、出る品が決められていて、それがローテーションで回ってきます。菓子パン等はありません。

以上がこの食事情です。色々述べてきましたが、人ほどのような環境にも適応できる生き物ですから、食事が美味かろうが不味かろうが、すぐに慣れてまいりますので安心してください。

大切なのは、自分が何故、職業訓練に来たのかを忘れないことだと思います。初心さえ忘れなければ、多少のつらいことがあつても、耐え忍ぶことができるはず。

今後は、処遇についても投稿したいと思えます。

追伸。訓練中はイラストの投稿は控えさせて頂きます。おたふくの隠れファンの皆様、申し訳ございません。

## 地元へ帰ると

### 気持ちが戻ってしまふ

N・Aさん

自分は以前、手紙に、一度地元へ帰ってからマザーハウスに行くつもりだと書きました。その後、父と手紙で相談した結果、地元へ帰らずに直接マザーハウスに行った方が、自分自身のためになるのではないかと父が言ってくれました。

理由は、地元には、悪友がいっぱいいるからです。

父もマザーハウスのことをネットで調べたようで、自分がマザーハウスと知り合ったことで人生をやり直すのならば、直接行った方がいいのではないかと、悩んだ末に答えてくれました。自分もその通りだと思います。

母の墓に行つて、母に「もう二度と刑務所に行くような生活はしないよ」と言いたいのですが、地元に戻るといつい気持ちは…と思います。まずは父の言う通りにしたいと思います。

### 恥を感じられることに感謝

K・Nさん

感動した文章がありましたので、書き綴ってみました。

「自分の罪を恥ずかしく思うことで、罪の意識に苛まれるよりも、むしろ、そのことを、神の優しさにあふれた慈しみと赦しを直に体験する糸口にすることが出来ます。

クリスチャンは、恥を感じられることに感謝するべきです。それは、私たちが悪を受け入れないことを意味しているからです。さらに、恥じるということは、悪に打ち勝つために主を必要としている魂からの、ひそかな招きなのです。

悲劇的なのは、私たちが最早、何に対しても恥じ入らなくなってしまうことです。恥から赦しへと進みましょう。」

私は、この文章を読んだ時に、これからキリスト教を信仰しようとしている私に対しての、主からの「導き」だと思いました。これから先の困難にもめげず、前に進んでいけるように、日々邁進していく覚悟です。

### 「最悪」と思ったら、

### 本当に「最悪」になってしまっ

Y・Dさん

励ましてくださったのに、あの後、作業拒否をして、調査・懲罰になりました…。結局、「口だけ」になってしまったこと、「逃げてしまった」ことに、後悔です。人間関係、本当に難しいです。それでも、どの工場にも、良い人、悪い人がいて、好き嫌いがある。励ましてくれる人、仲良くしてくれる人たちに、本当に感謝です。こんな俺にも、神様が共におられること、心強いです！

けれど、現実が厳しいと、神様の存在が遠いものになってしまう…。どこに行っても、マイナスな発言ばかり聞こえてくる。実に耐えがたい…！「神様が用意し

てくださっている」と教えてくださいましたが、「主よ、苦しいです…」と嘆いてばかりです。祈り自体をしなくなってしまう時もあります。

「逃げない！」と自分で決めたのに、自分で破つてしまい、応援してくれた人がいるのに申し訳なく思います。「有言実行」という言葉がありますが、実行しないと…好きな職員さんが、口癖のように、「ピンチはチャンスだ」と言っていました。「最悪」と思ったら、本当に「最悪」になってしまい、神様との繋がりが切れてしまいます…。

自分は、周りの状況や人に左右されやすく、流されやすいです。だから、「神様が備えてくださった道を歩むことができますように、導いてください」と祈っています。自分は、「生きていくことは修行だ」と考えています。そして、苦しい状況にあつても、聖書に書かれている通り、神様は「全てのことを益に変えることとの出来るお方」（ローマ八章二十八節）と本当に信じます！

今まで何度も懲罰になりすぎて、行っていない工場を数えた方が早いくらいです…。毎回、家族などに報告していますが、いい加減、良い報告をしたいです。とかく、「相手が悪い、環境が悪い」と

嘆きがちです。本当は全部、自分が悪いのに…。周りの人や環境は変わらない…なら、やることは一つ。「自分が変わる」こと！

教えてくださった祈りも、しっかりと祈つていきたいです。「どんな状況・環境・人にも影響を受けない強い心を与えてください。そのような心を私の内に育ててください」と。

私は、所内誌にも投稿していますが、実際にカッコいいことが書かれてあります。振り返って読み直すと、恥ずかしいです…。

自分の中には、まだまだ「どす黒いもの」があります。本当にムカつきすぎて、いつも爆発寸前でした…（苦笑）。本当に「悪人なのだな…」と痛感しました…。けれど、止めることが出来たのは、「成長」と言えるのでしょうか？工場において、共同室での生活において、勉強になっているのだと思います。学んだこといっぱいありますし、現在、無事故が続いていて、本当に感謝です。

この半年間、すこく逃げ出しそうにもなりました…。しっかりと無事故が継続できるようにしていきます！最近、どうしてもイライラしたり、自分の気持ちが落ち着かなかつたりする時は、「主よ、助けてください！」と心で唱えています。

## 情状証人に立ってもうって

A・Mさん

先日はご足労をかけ、誠にありがとうございました。求刑からすぐ御礼のお手紙を書こうと思いましたが、手が震えて書けませんでした。

今までヤクザでしたので、情状証人など、立てたことも立ってもらったこともなく、初めてのことで、少し感情が高ぶってしまいました。

人伝いには、検事や裁判官から様々なことを聞かれると聞いていましたが、そんなに検事からずげずげと来るとは思わず、本当に申し訳ありませんでした。他人の私のために、ありがとうございますました。

横側から姿を見ていまして、検事からの質問中、理事長が何度も手を動かしているのを見て、人に違うことで甘えることはあつても、二度と犯罪で人に甘えること、支援してくれる方々に唾を吐くようなことはしない、そして悪いことで警察には会わない、再犯はしない、と深く己に誓いを立てました。

私は、変わります。必ず。変わる事が難しいのは、前回出所した時で分かっています。変わりたいから変わります。

私は、人の愛や情や優しさについて欠けていると思います。嘘の世界が長かったので…。前回出所して、すべてが悪かったわけじゃないです。愛や情や優しさを、人から受けたこともありました。今回、E弁護士と出会い、優しさ、厳しさをいただき、マザーハウスと繋がり、愛や情や優しさを感じ、心に何かを植えてもらいました。

それは、きっかけという種だと思いません。その種から芽を出させていただくチャンスと気づきました。しなびれる時もあると思いますが、折りませんので、若輩者ですが、よろしくお願いします。

私の人生は、「ゴイイング・マイ・ウェイ！」我が道を行く、でしたが、普通の人生を歩みたいから、チエンジ・マイ・ライフ・レッツ・トライーに変えます。

### 愛を込めて語りかける

N・Kさん

今日、十月十三日(土)午後二時、マザーハウス主催の「受刑者のためのミサ」で、私たちのような者のために、司教様や社会の方々が祈りをささげてくださって、心より感謝しています。

私も塀の中で、腰痛のため座ることが出来ず、横になったままですが、涙を流しながらお祈りをさせていただきました。

ミサの集会祈願についての解説に、「祈願は簡潔な文章ですが、その中に、神と人間との出会い、神の人間への愛、人間の心からの願いが込められたものとなっております」とありました。

私は、子どもの頃から、部落人ということで差別される日々を送ってきました。私は好き好んで部落で生まれたではありません。母もそうです。また、部落人として恥じたこともありませんが、部落人として生まれてきて一番つらかったのは、「この差別です」。

「あの子と遊ぶな!」「あの子が学校に来るなら、自分の子を他の学校に転校させる!」「お前たちは犬を食べているのか!」…こんなものなら、まだ良い方です。でも泣いたことはありません。「いつら、いつか仕返しをしてやる」という復讐心はありませんでした。

それが今、こうして受刑者として務めている、と言えはだけさだと思いかもしませんが、誰に対しても、信じることも、小さなことでも赦すこともせず、人を愛することもせず、と言うより、信じるこ

とも赦すことも愛することも知らないまま育ってきました。そして初めて信じた方が神様なのです。

「もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです」(ローマ十章九〜十節)。

今まで私は、主が与えてくれた試練に気付かなかつたのです。

今までのこの試練があつたおかげで、今、神様を知り、神様と共に人生の最後まで歩めることに、大きな喜びを持っています。そして、一人でも多くの懲役クリスチャンと共に、数多くの希望を捨てた、先の見えない方々に光を見つけてもらえるように、神様を語っていきたくと思っています。



Y・Rさん

最後に、今、私の好きな言葉を書かせて頂きます。

「大切なのは、人にどれだけ多くのことをしたかではない。それをするのに、どれだけのを愛を込めたかだ」(マザー・テレサ)。

私も、人に愛を込めて語りかけたいと心から思います。

### 川柳

T・Iさん

- ・ 娑婆近し 鋭意全力 ラストラン
- ・ 生きる故 前途多難も 人の道
- ・ 獄の中 我慢の上に 忍耐も
- ・ 神様に 背中押されて 未来へと

理事長の奥さんによる

## Lovely DAYs

ある日、何を言っても怒らない優しい夫に、「ひろしくんって全然怒らないよね〜何で?」と聞いてみた。そしたら、「この人に何を言ってもわからないから」との返答。  
手のひらで転がされてるのは私の方だった!

# 巷のたより

## —社会の方からのお手紙—

### 真の神様を当てにする

しくじり先輩さん

たよりを拝読し、思うところがありつつ遠慮しておりましたが、ついにペンを執ってしまいました。出所後の就職についてです。言わずもがな、老婆心です。おゆるしください。

まず、「前科さえなければ」「学歴・職歴さえあれば」「何かの資格や特技さえあれば」などという考えは捨てましょう。何事も、「〇〇さえあれば」「〇〇さえなければ」というのは幻想であり、落とし穴です。

また、上手い話には裏があることが多いため、用心してください。

日給・時給の高い仕事はキツくて割に合わないことが多いです。また、一ヶ月の勤務時間が少なく、月給は少ない、ということも多いですし、すぐに打ち切られたり、身が持たなくて辞める羽目になったりすることも多いです。

求人が多かったり、給料が高かったりする理由は、たくさん募集しないと、あるいは給料を高くしないと人が集まらない、すぐ辞める人が多い、それだけその仕事をずつとやりたがる人がいない、ということなのです。その「裏」を考えず、「俺は大丈夫」といった根拠のない自信を持つことは有害無益です。

学歴・職歴・資格・特技・人脈などのある方々も、真の神様以外、当てにならないことを忘れなください。今は、前科の無い人々でさえ、当てになるものなどない時代ですから、なおさらです。

では、どうしたらいいのか?ですが...まず、真の神様との関係をしっかりと持つことです。

罪(犯罪行為だけでなく、そのおおもとの原因から)を全て神様に告白し、悔い改め、神様の赦しと清めを信じ、いつも神様とともに歩むこと、何でも相談し、従うこと、任せることです。

その上で、神様が与えてくださった良き指導者・助言者・先輩・仲間などと、神様と同様の良い交わりを持つことです。出所後に就くことを考えている仕事そのものの良い・悪いだけでなく、その仕事で自分に合いそうかどうかもアドバイスしてもらった方が良いと思います。

そして、自分に厳しく、自分の生活を整え、保たなければ、仕事などできません。出所後、食べ放題・飲み放題したり、夜更かし・朝寝坊したりして、せうかくのバランスの取れた食生活や規則正しい生活を崩し、体調も崩し、病気になるたりしては、何もできなくなります。

礼儀や思いやり、学ぶ姿勢、何よりキリストの弟子として人々を愛し仕える姿勢も必要です。これは、前科にも学歴等にも関係なく、誰にでも、いつの時代でも、どの地域でも言えることですが、今ますます重要になっています。出所が近付いてからではなく、ぜひ、今からやってみてください。

根拠のない自信も、取り越し苦労も捨て、必要な時に必ず与えてくださる真の神様に信頼して、今やるべきことをやってみましょう。誰だって、そうするしかないのです。

私も皆様とともに頑張る毎日です。幸せに生きて、天国で笑い合いましょ。

看護師 中谷先生による

# 健康相談窓口

## 排便障害

今回は、排便障害（便秘・下痢）についてお伝えしたいと思います。

### 排便のメカニズム（図1参照）

食事として食べた物は、消化管を通じて、消化酵素（消化を促すもの）により分解されます。胃や小腸から、栄養素として吸収される食物繊維（<sup>①</sup>ぼう、<sup>②</sup>寒天などに多く含まれています）など、消化できない物が大腸に運ばれ、水分や電解質が吸収されて、便が作られます。

腸は主に、小腸と大腸に分けられますが、小腸で栄養の吸収を行い、大腸は水分の吸収しか行いません。

便が直腸まで下がってくると、排便中枢（仙髄）に刺激が伝わり、便意を感じます。

このとき、自律神経支配下である内肛門括約筋は緩みますが、体性神経支配である外肛門括約筋はまだ我慢できるので、トイレに移動して排便を行うことができます。

便意は我慢しているとやがて消えてしまいます。便意がなくなってしまうからでは、なかなか排便ができなくなります。そのため、毎日時間を決めてトイレで排便する習慣が、腸にとって優しい生活であるといえます。

排便する際の姿勢を想像してください。すっきりと排便をするためには、いきみやすい前屈姿勢をとることが必要だといわれています。ふんぞり返って排便することは難しいですね。

そのため、「便意」「いきみ」「排便姿勢」は、排便のための重要な要因となります。



### 排便障害とは

便の色や回数、硬さなど、排便に関して何らかの問題が生じた状態、便秘や下痢、便失禁などがあります。

#### ①便秘

便の結腸や直腸の通過時間が長く、停滞や貯留により水分が吸収されて、便が硬くなる状態。

一般的には三〜四日排便がない時とされていますが、排便周期は個人差が大きいため、排便がない日数や回数のみによる判断は適切ではありません。

#### ②下痢

便の結腸や直腸の通過時間が短く、消化・吸収されないため、形がない便となる状態。水分を八十パーセント以上含み、腹痛を伴い、排便回数が増えることが多いです。

#### ③便失禁

肛門括約筋の障害や下痢などにより、便が漏れる状態。

①自身の排便状況を振り返り（図2参照）、正常か異常かを判断していただければと思います。

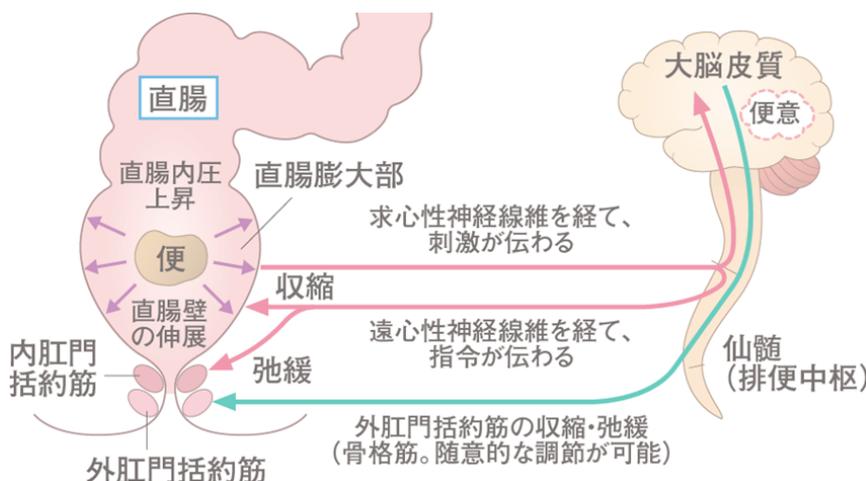


図1 排便のメカニズム



## つぶやき！

運動会の日、朝からあんドーナツ、アクエリアス、昼はパン食、夜はカップヌードルカレーと幕の内弁当、お菓子は栗しぐれ一袋、なんて幸せな日だろう…感謝。(T・Iさん)

奇跡的に進類するも、訓練の方は、うん十連敗中。まったく光が見えません！（笑）そろそろ行かせてほしいな…。(ボンさん)

「つぶやき」という言葉を見ると、たとえ良い内容でも、聖書のある御言葉が思い浮かびます。「つぶやくな…」(ヤコブ五章九節「兄弟たち。互いにつぶやき合っては いけません。さばかれないためです」)と。

独り言の多い私は、日々、単独室なのに何かしてはつぶやき、作業中でも上手くいつてはつぶやき、ミスしてはつぶやき、そしてハッとする。「また、つぶやいてる！」と。

不満じゃないんです神様。自分を励まし、ダメ出して、罵って、自分に理解を求め、意見を求めているんです。

でも、周りの人はそう見ません。「また独り言でてる！」。スママセン。(きりさん)

## ご寄付ありがとうございます！

11月15日～12月13日の寄付金

合計：328,618円

(内 愛のプリズム宣教基金：2,100円)

(内 マリアカフェ基金：50,000円)

Y・Rさん



## 行事予定

▼12 / 22 11:00～

マザーハウス・クリスマス会

▼2019年 1 / 15～16

カトリック教誨師連盟研修会

▼1 / 18

東京簡易裁判所にて、情状証人

▼1 / 19 14:00～

聖イグナチオ教会 岐部ホール 404にて、  
対談「獄中で聖書と出会って」

## お知らせ・編集後記

こんにちは！お読みくださりありがとうございます。

たよりに掲載させていただく文章は、まずお手紙の開封時に一度読み、掲載を決定する際に読み、その月のたよりに載せるものを選ぶ時に読み（その月で載せなかったものは翌月の選定時にも読み、翌月でも載せなければ翌々月の選定時にも読み…）、などなど何回も読んでるので、「あれ、この文章まだ載せていないはずだけど、すごく記憶に残っている…（載せたか載せてないか）どっちだ?!」ということが多々あります。

掲載したかどうかのチェックは入念にしているつもりなのですが、万が一かぶって掲載してしまったら…と、いつもハラハラしています。イラストも同様で、毎月デジャヴだらけの中、製作しています。

## ☆受刑者の皆様へお知らせ☆

- ・フランススコで料金等の変更がございます。詳細は同封の用紙をご覧ください。
- ・事務局宛でお手紙が出せない場合は、五十嵐弘志宛で大丈夫です。
- ・今月は、希望者の方に福音たよりクリスマス号を同封しております。ご確認くださいませ。
- ・『Chance!!』誌につきまして、今後も購読を希望される方は、出版元（〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-17-11 パークハイツ池袋1105 株式会社ヒューマン・コメディ御中）に直接お問い合わせくださいませ。

## ☆獄POSについて☆

・現在、不定期で獄POSの契約・製作・発注を行っておりますが、来年からは、年に二回、三月と八月を獄POS対応の月にしたいと考えております（ご注文は随時受け付けております）。福音たよりが五月と十二月なので、重ならない月を選びました。獄中ボランティアの皆様には、対応が遅れたり不手際があったりでご迷惑おかけして申し訳ございません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、メリー☆クリスマス & 来年もよろしくお願いいたします！

マザーハウス編集局

## マリアコーヒー (ルワンダ・コーヒー)

\* 製造から販売まで、元受刑者が携わっております。

FAX : 03-6659-5270

メール : maria\_coffee@motherhouse-jp.org (QR →)

価格 : 粉200g または 豆200g …… 900円

カフェドリップ10g (1回分) … 100円



☆継続して購入・販売してくださっている皆さま(順不同)☆

カトリック茅ヶ崎教会 / カトリック北仙台教会 / カトリック所沢教会 / カトリック中和田教会 / カトリック布池教会 / カトリック東山教会 / カトリック浜松教会 / カトリック新子安教会 / カトリック菊名教会 / カトリック碑文谷教会 / カトリック東仙台教会 / カトリック春日部教会 / クリスト・ロア宣教修道女会 / カトリック足利教会 / カトリック神田教会 / カトリック松戸教会 / カトリック戸塚教会 / カトリック桃山教会 (平和環境部) / カトリック大分教会 / カトリック西千葉教会 / カトリック下井草教会 / カトリック新潟教会 / 日本カトリック神学院 / ドン・ボスコ社 / 聖母訪問会



☆ルワンダの祈り☆



ルワンダでは、1994年、フツ族によるツチ族の大虐殺がありました。史上稀に見る残虐な内戦によって、ルワンダの人々は心身ともに非常に深い傷を負います。

しかし内戦終了後、恨みや憎しみから、復讐が復讐を呼ぶ状況に陥りかねない中、ツチ族の人々は、復讐ではなく、和解と共生を選択しました。マリア・コーヒーは、この和解と共生の地から届けられた生豆を使用しております。

## 獄中POSTシリーズ

\* 獄中ボランティアの方の絵画と文字を  
ポストカードなどに印刷する企画です。

FAX : 03-6659-5270

メール : motherhouse.tayori@motherhouse-jp.org (QR →)

入手方法 : 会員の皆様や、ご寄付 (5000円以上) くださった方々、

その他の機会等で感謝を込めて配布させていただく予定です。

(絵画 + 言葉の組み合わせで、同じデザインは最大2枚のため、  
デザインはランダムです。)

\* デザインの絵画部分を選んで購入されたい方は、講演会や郵送にて  
販売しておりますので、お気軽にお問合せくださいませ。

(ポストカード/封筒は3枚で800円、便箋は30枚で800円)

ホームページ : <https://npo-motherhouse.amebaownd.com/> (QR →)



## マザーハウスたより 12月号

2018年12月15日発行 発行責任者 : 五十嵐 弘志

〒130-0024 東京都墨田区菊川1-16-17-102 NPO 法人マザーハウス



↑ 理事長 facebook ↑ 活動日記ブログ ↑ MLPのメール ↑ オンラインショップ

## ラウレンシオ (便利屋業)

\* 元受刑者の就労支援の一環として、不用品処理、遺品整理、  
掃除などをさせていただきます。お見積もりは無料です。

TEL : 080-4614-8508

FAX : 03-6659-5270

メール : lawrance@motherhouse-jp.org (QR →)



## 古本募金 (きしゃぼん)

\* 書籍やDVDを下記送り先にご寄付いただくと、マザーハウスに還元されます。  
送り先 : 〒358-0053 埼玉県入間市仏子916

(マザーハウス事務所に送らないようお気を付けください)

TEL : 0120-29-7000

## カウンセリング

\* 当事者やご家族の方を対象に、当事者スタッフが、実務に役立つ専門的  
なカウンセリングを行います。

メール : iwazakifuusui@gmail.com (QR →)

価格 : 30分5000円より

ホームページ : <http://profile.ameba.jp/fengshui0708/> (QR →)



## お問合せ

いつも本当にありがとうございます。随時ボランティアの方を募集しております。

TEL : 03-6659-5260

メール : info@motherhouse-jp.org (QR →)

ホームページ : 「NPO マザーハウス」でご検索ください。(QR →)



## ご支援

☆正会員 (一口5000円/年) ☆賛助会員 (一口3000円)

☆社会復帰支援 (ご寄付) を随時募集しております。

→お振込み口座名 :

特定非営利活動法人 マザーハウス (トクヒ) マザーハウス

郵便振替口座 : 00170-0-586722

みずほ銀行 : 新宿支店 普通口座 2376980

☆洋服等の物資の送付先 :

〒348-0061 埼玉県羽生市稲子36-5

(担当者 : 江口 TEL : 080-4057-2518)